

一月十五日

○時四〇分就寝。○邸門扉デザイン。今日は大雪だと言うがどうかな。七時四十五分起床。曇天だが降雪は無し。十時T邸現場。十二時半B邸現場。十四時半岡邸訪問。メンテナンスの件。その後夕方より青山で会食。打合わせ。深夜世田谷村に戻る。

一月十六日 日曜日

大阪からの沢山な便り、及び同封されていた木村重信氏の論文読む。辻晋堂の琵琶を弾く男の写真が良くて色々な事を考えさせられた。

他人の孤独をのぞくのは自分のそれに触れるに等しい。

一月十七日

晴れた。きょうは午後動くつもり。

十一時研究室、打合わせ。十八事迄。昼食はサンドイッチ。十八時半目白ダムダム空間工作所にて竹居正武と打合わせ。これから先十年の、チョツとした打合わせ。大学教師になってから、考えてみれば初めて私の古巣のダムダムで本格的な相談を行った。

大学を拠点とした設計活動はそろそろ気持ちとしても限界を迎え、将来の事を考えれば、再び本来の町場に帰る気持ちをダムダムに伝えたのだが、竹居は私のワガママを良く聴いてくれた。復帰のプログラムは熟考のうえ段階的に成し遂げたい。家内と相談しなくては。

一月十八日

昨夜、ダムダムの竹居正武と相談したのは要するに最終段階の一つ手前の時間をどう生きるかという事だ。町づくり支援センターでのやり残し、プロダクト、コンバージョンは今の研究室の人材では困難だ。このまま放置しておくとも残らぬ。それらの一部とプロダクトの軸足をダムダムに移行させる。銅版画を再開したい。世田谷村下の廃材を使ったオブジェと小屋を作り始めたいのだが。二〇才台の身体であれば自動的に体が動き始めていただろうにと思うのだが、今はそう考えることをいぶかしむ自分もいる。智恵つてのは様々に自分を疑うことでもあるのかな。

十一時半小田急線車中。中央林間森の学校現場へ向かっている。十二時半駅前のモスバーガーで昼食。駅前をグルリと後ろまで廻ってみたがマアこれならいいかの飯屋が発見できなかった。モスバーガーの味は要するに無色透明。何処にも変なところが無いが何処にも味が無い。教師になったばかりの頃学生達がコンビニフードを良く喰べ、ために自炊させてもその味がこんな風であった事を記憶している。この味にどうしても馴染めない。森の学校現場。構造の佐々木さんと会う。只今十四時過小田急線で新宿に向かっている。森の学校のファサードに木の装飾をあしらってみようかと車中でスケッチをつづける。トーテムポールか、かかしか、どちらかな。どうも、うまくいかない。新宿に着くまでにアイデアが固まらなければ止めてしまおう。森の学校のエントランスのテラスには「あいさつお化け」の表情をつける事にした。子供達の毎朝夕の来園、退園に、おはよう、さよならと、あいさつするお化けをここにデザインする。十五時四〇分研究室戻り。早速あいさつお化けのスケッチ。